



manaba 講習会情報

今回の manaba 講習会は例年開催している初心者向け講習会に加えて出席やミニアンケートなどに利用する respon 機能についての講習会も開催します。ぜひこの機会にご参加ください！



参加希望の方は必要事項（所属、氏名、参加希望①②どちらか、もしくは両方）をご記入の上、メールにてお申し込みください。ご都合のつかない方は個別にご説明しますので、お気軽にお問合せください。

開催日時・場所

《開催日》 9月10日（火）

《場所》 板橋校舎 10号館 4階 104A コンピュータ室

① 初心者向け講習会 13:30~15:00

② 機能別講習会（respon について）15:15~16:45

お申込み・お問い合わせ

manaba@tokyo-kasei.ac.jp

参加報告

人文学部における教育方法の改善に関する勉強会

～より積極的な manaba の活用を目指して～

2019年7月25日(木)
9:15~10:45



学修・教育開発センター 安積和広

7月25日（木）、人文学部教員向けの勉強会「人文学部における教育方法の改善に関する勉強会～より積極的な manaba の活用を目指して～」に CRED から安積、山本が参加しました。人文学部長の三浦先生司会のもと、冒頭

は安積より manaba の機能説明を行い、続いて英語コミュニケーション学科小池先生による事例報告、参加者によるグループディスカッションが行われました。会場全体での質疑は具体的・実践的な内容が多く、最新の manaba 利用実態を知れたことが大きな収穫でした。参加者は manaba 利用者が多くを占め、数年で manaba の普及が進んでいると感じる一方、「利用する機能が限定的である」「機能をうまく使えてない」といった話を頂き、遠い将来ではなく直近の差し迫ったサポートをより充実させていく必要を改めて感じました。



！ 知って得する便利機能

[提出状況(個別に確認・採点)]画面の該当の学生(氏名)をクリックすると、**課題の代行提出**ができます！

ファイル送信レポート

参考図 未提出
※保存[1ファイル] 【ログ】

学生が提出ボタンを押し忘れてファイルが保存された状態になっている場合(①)、担当教員が学生の代わりにファイルをアップロードすることができます。(②)

小テスト/アンケート

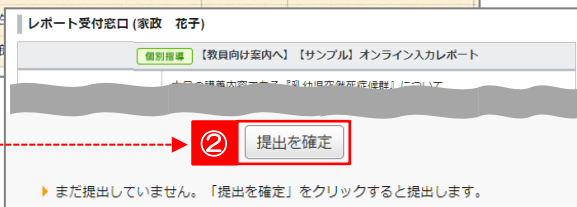
参考図 未提出
※入力データあり 【ログ】

課題を一時保存した状態や提出ボタンの押し忘れがあった場合、学生の代わりに提出を確定することができます。

※一度提出を確定すると提出の取り消しは行なえないので、受付終了後等、学生の回答が確定してから操作してください。

【例】ファイル送信レポート

氏名	学籍番号	成績	提出日時
家政 三田子		-	未提出 ※保存[1ファイル]
テスト学生1	900001	-	2019-07-08 13:13:13
テスト学生2	900002	-	2019-07-08 13:19:24





活用事例紹介

実際に manaba を利用している教職員の方々の活用事例を紹介します！

家政学部 服飾美術学科

教授 大井 龍

Report
09

授業や学習管理の効率化

今年の4月に着任したばかりで、大学で教鞭をとるのは初めての経験でした。manaba を活用することで作業が効率化でき、本来の業務である教材作成や授業の組立てを考えるのに多くの時間を割くことができたと思います。

まず、出席確認と毎回授業後の小テストを manaba で行いました。小テストの最後に自由記入欄を設け、質問や感想などを書いてもらい、次回の授業の時にフィードバックします。また、繊維学実験ではレポートは全て PDF ファイルで提出してもらいました(イラストや手書き部分は写真に撮って掲載)。最初、学生にも少し戸惑いがありましたが、やってみると意外に簡単でした。

期末試験では、選択問題を manaba で、記述問題は紙でと使い分けました。授業資料は配布するとともにコンテンツに掲載することで、リンク先へのアクセスを簡便にできるようにしました。出席登録機能は非常に便利ですが、名前を呼ばないことで、学生の顔と名前を覚えられないという欠点もあります。自動化できる部分と手動でやった方が良い部分を組合せて効率的な学習管理を考えていきたいと思います。



- 利用規模
延べ 600 名程度
- 授業形態
講義、実験・実習、演習
- よく利用する機能
小テスト、レポート、
コースコンテンツ、
respon (出席)

Report
10

子ども学部 子ども支援学科

准教授 岩崎 雅美

授業改善のヒントや工夫をフィードバックしてもらいながら進めています



- 利用規模
30~120 名程度
- 授業形態
講義、実験・実習、演習
- よく利用する機能
レポート、掲示板、
コースコンテンツ
respon(出席・アンケート)

着任時に学修・教育開発センターの安積さんから研修を受け使い始め、主に「レスポンス」・「コースコンテンツ」・「レポート」の3つの機能を利用しています。「レスポンス」では、出席とグループ分けを行い、学生さんには毎回違うメンバーでグループになってもらい講義の展開に応じて三択で回答を求めたり、事例について個人で考えてもらってからグループで意見交換をしてもらい、グループとしての望ましい子どもへの言葉かけや対応を「レスポンス」に入力してもらい全体で共有しながら進めています。

講義の最後には①10点満点で今日の授業は何点か、②構成や時間配分・内容等どう改善すれば良いか、③感想や気づき等について質問し、授業の組み立ての参考にしています。講義終了後は「コースコンテンツ」に P P と配布資料をアップし、「レポート」で欠席や事後学修用の課題を出題し、オンラインで提出してもらっています。事後学修の取り組みは、課題の提出だけでなく、資料の閲覧履歴で復習をしているかどうかの把握もできるので役立っています。学生に届きリアクションを促しやすいレスポンスの機能を取り入れ、楽しみながら知識を身につけ、それを活用しながら更に自分の考えを深められるよう工夫していきたいです。

■ 次回予告

manaba information
便利機能紹介
活用事例紹介

■ manaba に関するお問い合わせ先

学修・教育開発センター (板橋校舎 百周年記念館 1 階)
電話番号: 03-3961-2062 (内線: 安積・1270/山本・1290)
Mail: manaba@tokyo-kasei.ac.jp

